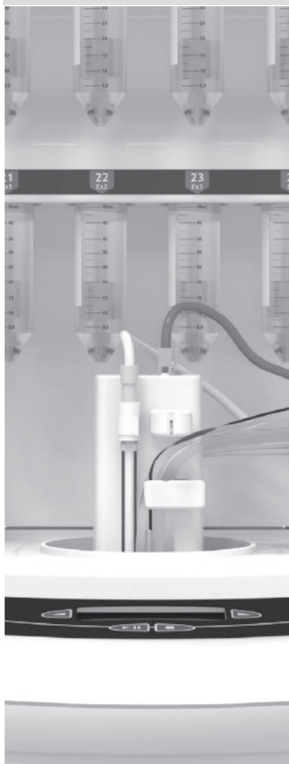


第56回ペプチド討論会

CEM Japan株式会社主催 ランチョンセミナー

ペプチドおよびペプチドミメティックの 環境に優しい合成方法論

A Sustainable Synthetic Methodology
for Peptides and Peptidomimetics



演
者

CEM Corporation (US)
Micheal J. Karney

近年、ペプチド医薬の研究が隆盛となってきました。古い従来の固相ペプチド合成法（SPPS）は合成速度及び廃液量の多さから、ポテンシャルのある候補配列を発見する上で大きな障害となっています。このような状況の中で、弊社のマイクロ波を使用した全自動SPPS装置は合成時間と廃液を大幅に削減しつつ高品質のペプチドを生産する代表的な化学的方法としてその地位を確立して参りました。

今回のセミナーでは、ペプチドの純度、生産のスループット、溶媒の使用において最高の結果をもたらすためにマイクロ波を使用した合成方法論をご紹介します。これはジメチルホルムアミドやN-メチルピロリドンなどの従来の溶媒に代わる新しくより安全な溶媒システムを使用し、化学者の安全や環境への責任にも配慮した方法論です。

2019. 10.25 (金) 12:00~12:50

会
場

M&Dタワー2階
講義室1

CEM
Tomorrow's Science Today

CEM Japan 株式会社

〒108-0074 東京都港区高輪 2-18-10

Tel: 03-5793-8542 Fax: 03-5793-8543

e-mail: info@cemjapan.co.jp

web: http://www.cemjapan.co.jp